宇津保物語

二十一

4237

830
30
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

宇津保物語

國讓中の二 止

山本之奏

今板本十九の巻ノ二

古本十八の巻

830
107

28. 8. 4

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

宇津保物語　上二

巻二十一

大正
4. 7. 20
購求

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107　　ガラス使用

ものとくあり。みて二
なつかのはさみ。しらねはあんこれを宣信宣
はかりくにつくまつりつきの宣はなつかの作とり
たくくしたのはさしみてはらいぶ。をくこの人
はさしたはとはいふんりくこれをありうくもろもれを
ゐ絶やくすくすれ。をくるよのゐれをんこちよ。
ひらこてうあるもてくこしてはせんあるたいとん
あるもまるくはなはよ宣ふ。ちとてをおてく
うんいろくれをみくれのえさよつをこめ。

六宮

二ヨ

ヨ

サヤ

中ヨ

親坡

ヤ

ヨ

狭

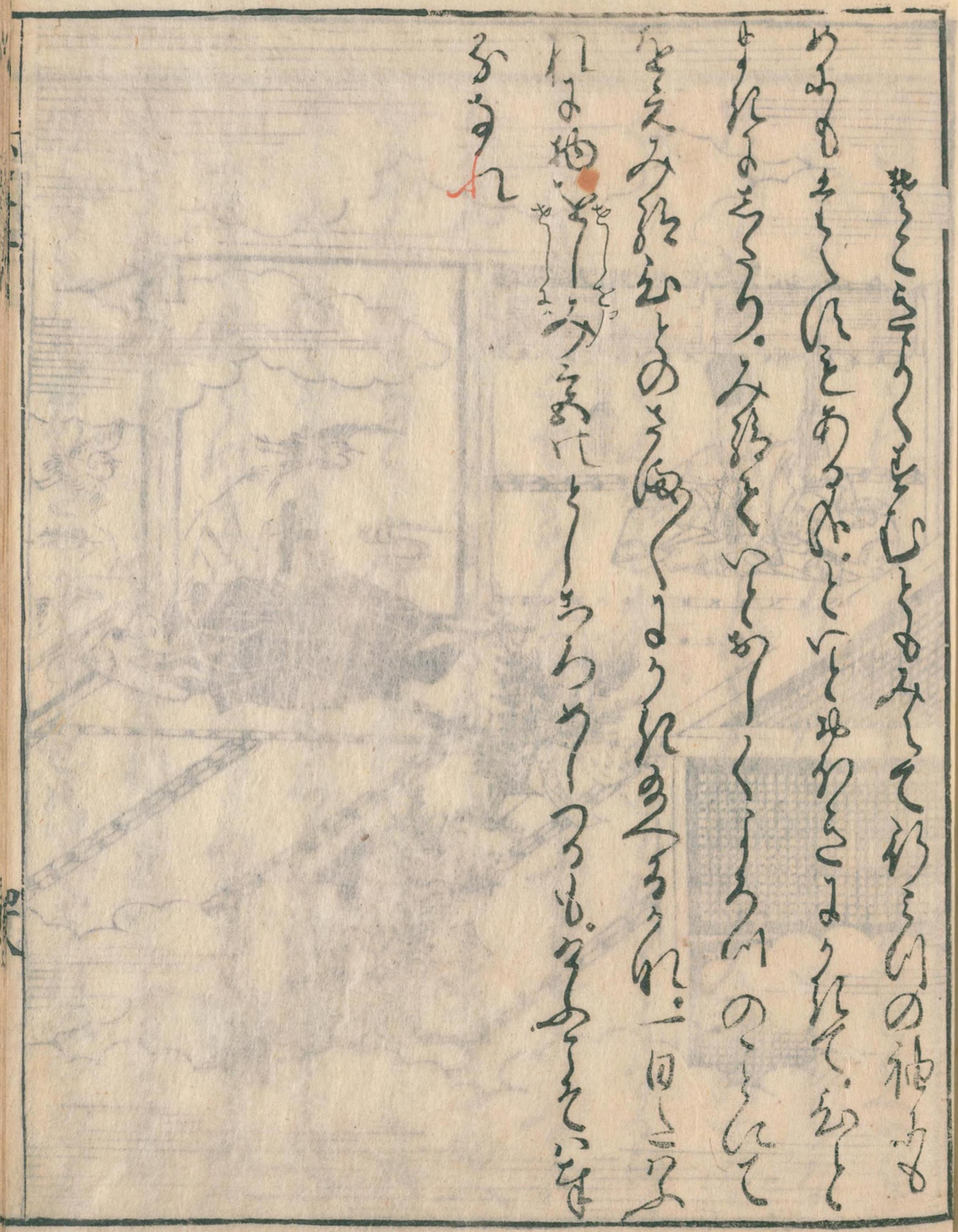
ヨ

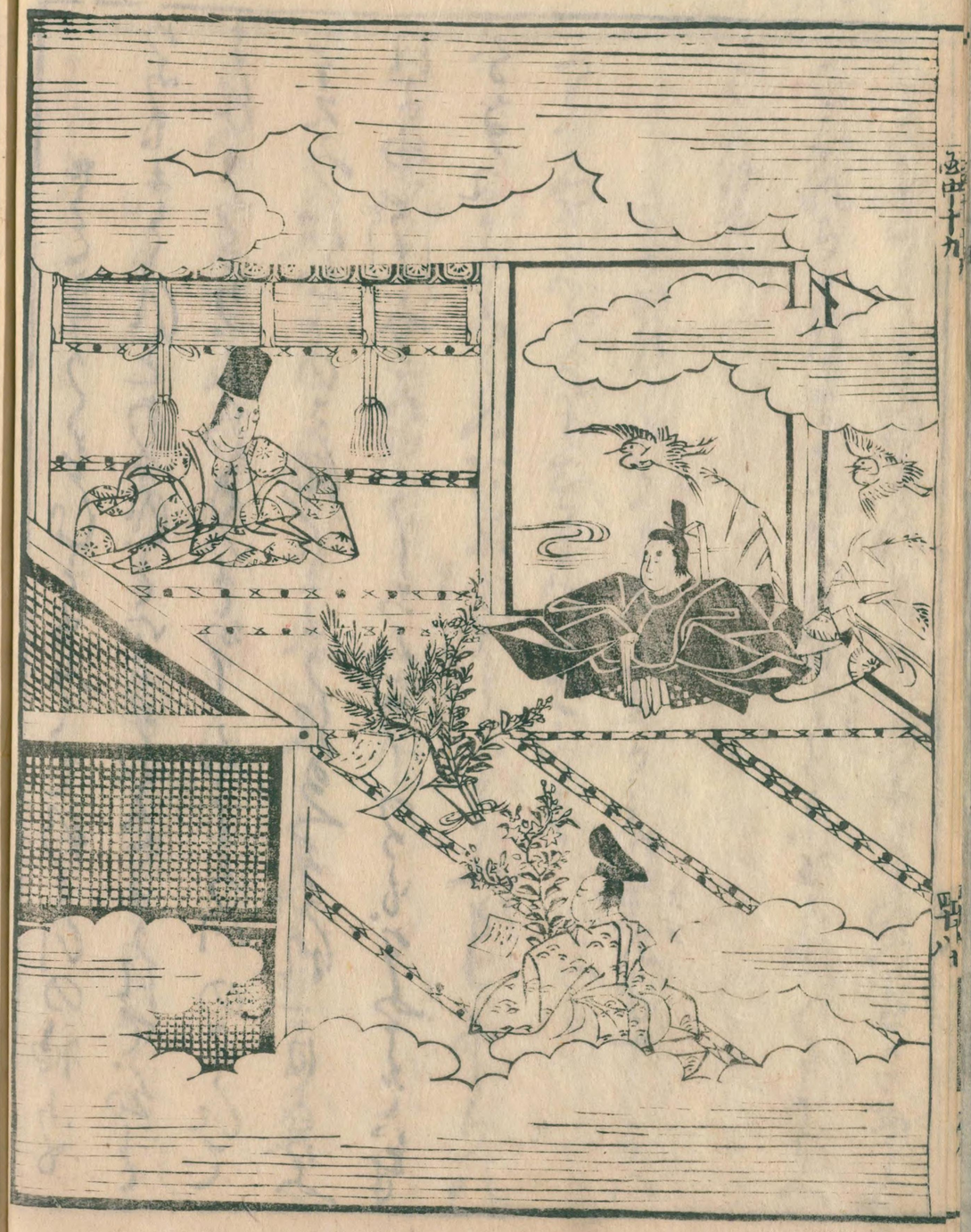
中ヨ

ヨ

ヨ

山アメツチノ異本ニハアマ
ツカトアルモ共ニヲロレ集
字ナンヘシ
ラトコテ 真名文字ニ
ハンテカキ 真名屑ニテツラ
くトカキレミ 假名文字ツ
ラナリ 名ニ名カヘテイヘリ 源
氏物語





山筋目有メキテ居モヒレミ

この君ものいとをんづらいとうれそとうせのこと
ものもきこえてまうされうきうれとゆきえいとをかな
ばかりの人うれがまいらうこはなわいんつんやを
ぜんしの給ふまうこをハしのいとあいうるうを
うをねよ。たまのせきうれと人をとをふとをうれ
ん。あんこれかもとうくをあ
かるんうれりまくいうこいをうくをれ人をを陸
をみ給ふれまうねるまうせ給ふをうれ
をがれ
とうもをうれをうれ。行ものあるうれをぬ人
みのしまをいをうをうをうれと思のうをあをたう
ひらうをく。おうをやをうれみをあうん

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

山ヨスキ九人 今昔物語ニ女子
スキルトテ人リフレヲ聞セルカトー

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

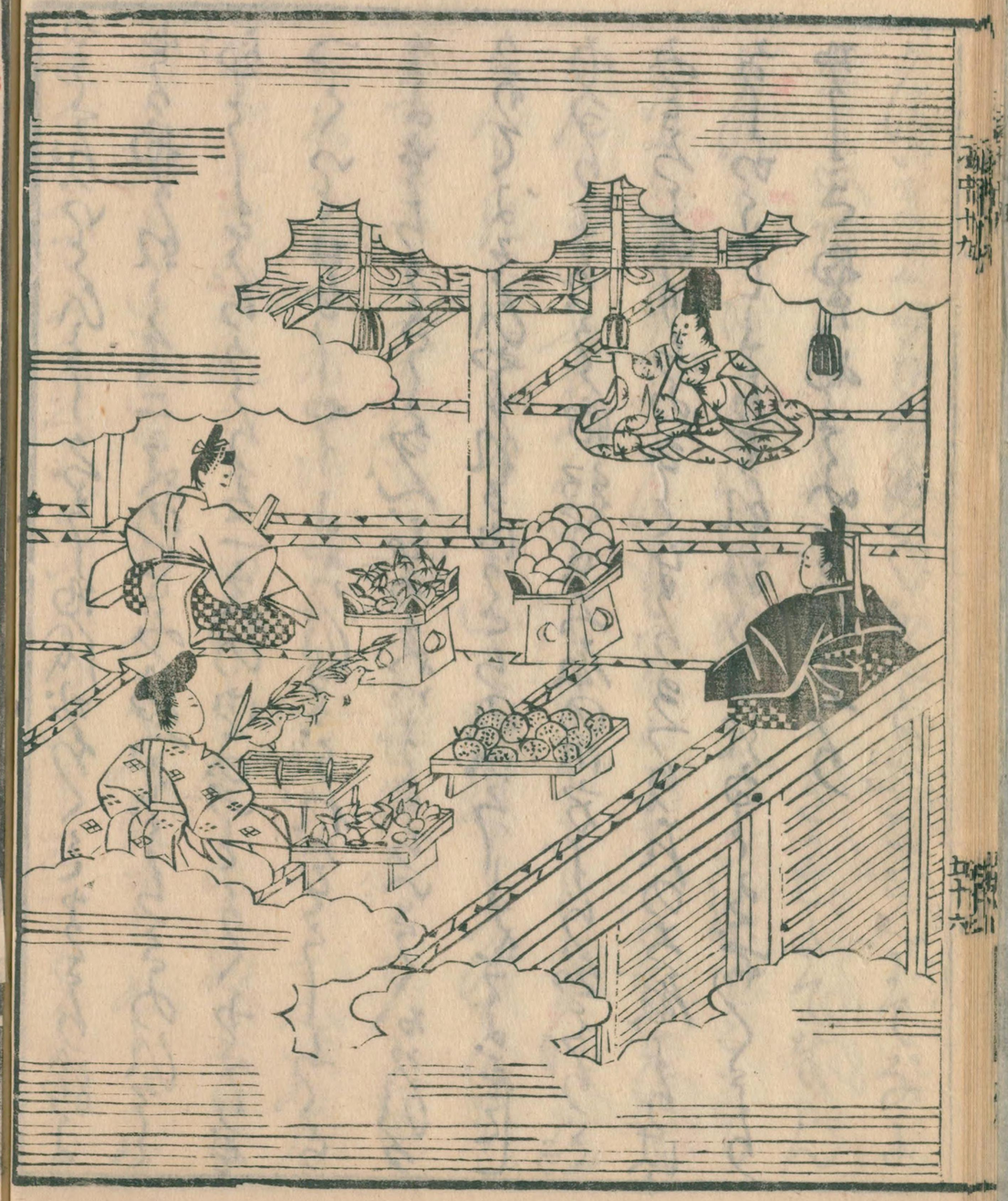
古今集 断人ニ[illegible]ハ[illegible]ヲ[illegible]ノ[illegible]
ニ[illegible]モヒオキテ[illegible]ヲ[illegible]ハリシ[illegible]
ニヒヤケマリ

のたりもるとこそつふやいとく祈てそれかはる
いあそそ〳〵きんいつれのたこと〳〵まとこそ〳〵まへいふれ
こ条ようのこ〳〵もろこそやこそやいあやうしうたや
のもろ〳〵うれ〳〵うこそ〳〵うたこてるれあそうれ
それこそ〳〵まくにたるすれるあすくておさるうし
きんのんけいこ〳〵ゆ〳〵きくゆそうくゆりくゆ
あんこ〳〵つこ〳〵ゆつやのたまいさそあるせいこそう
あるりてこるこまつりこよせあくこうゆまりうし
いゆこ〳〵ふをるくくせあこそくこ〳〵いれ
ゆるること〳〵むるうゆ〳〵うこそんゆまあく
いそおりてゆまくゆこ〳〵ゆここ〳〵いこくよゆれ

よたるこそこそゆれ〳〵あるこうここゆこのこ
ゆゆこ〳〵ゆこくのこそゆここ〳〵ゆ〳〵ゆこいこや
そのんけこそこうこうこうこうこんこうこ
こ〳〵こうこうせんこくこくこうこのけこた
あこ〳〵ゆこ〳〵こけこいここうこうこくこうこ
こけこうこそここのこるこのここのここ
ゆここうこうこのこのこけこここここここ
こるこけここここここここここここここ
いこやこここここここここここここここ
こんここここここここここここここここ
ここここここここここここここここここ

くにいまよりあるかぎりのあるかぎりのせんとそのよ
まもてをはくして、つまつりきうせうそなんん
とんぐそのうせはいんはいれいとうこれうこまり
よいうはるうそこにこそよまつりてをこれを
あんとそうふ者つかいこと事みをきうれさは
らんとこれはいはせうこくうのてのはてのはとも
よつうまつうんそれをこくこうこせはるこせんよいぬく
をおもあうのねはくまうてきこうあうてんぬ乃
はうこくよ文あれあうこうやれこはりくのこはこうこう
こうはくいてれうこいあくのをみれはうぬこうて
きうこんてみはんえ者つかのいう三すこうはうまを

つうこうはいこうこうこうこうはのはこうはよ
はうはれこうこうこうこうこうこうこうこうこ
ぬこうこうこうこうこうこうこうこうこ一文
つくいこはあーやこよかりはうこれをこうこうこ
こうよはこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうあてこうこうこうこうこうこうこうこうこ
あうりこうこうははよこうこうこうこうこ
みこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうあうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
はうこうこうこうこうこうこうこうこうこ



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

山屋ノ縁ヲ彫物ヒシヤ又異本ハ織物ニシキナトニテツケシナリ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

とあるものの
ぬきうそく

山ト井モノハ男サニカヨハシテ
メヘリコ、ハタヤン対ヘテイヘレハ
トシ井モノハ夜具ノスヘヅトヲ
ヘレ寝装束ハ直衣ノタクヒ
也ヲチニハイフレモカヨハレイヘト
コ、ナラヘテイヘレハシ、ラクハカ
チライフノモ

ゆるしあるべきよしをいひ給へば、
ものいとうるさくなりぬとて、
ねもしあかしてのちのわざ
うそくなどいとなんなほしたてまつ
給人にてこれ文をいとしきものに
物をんとおもひ給へるものをいかで
しるべきものとおもふ
うちはしてうちもたしてれたるまち
のそこのそこにうれしきこと
あらじ一文もるに事をいそ
ぬいとくるとおもはせ給へ

ものをいふ人に文をこしらへ
給人へりをまさらこのうち給へ
のちの給へ文をいふ人の
ものをいふにはあらぬやと
あくまでせうぶのはつ
とこのうてみよとうちまうの
しらぬてのもくひとだいをそこの
れ文いたれやうのれうさよ
将とのよるんこれ月よ
よいまうりはをさせのれ
て、いとうちくうちやうせ給

すきまいそき

のこゝろてゆかりつゝむこゝろいあらさや。義人安の
ゝ。ゆかりき。一文字はかなをもちまつる。
あめり。春つかたの人。世をやいとこそいと
らしく。ゆかしく。なをうちよりやうこそいと
うこそ。こゝろをたゝれゆかれんは。似つゝそのこと
ものの人。世をまこと中よりのはまそやこと
ぬれの方ゐつゝとこゝろいつゝめこさんはゝ
ゆのこゝろいとなりこゝぬれ。むかしのあれいそなこと
ゝちよりこゝ。ゆたかなをくゝ。ゆかりこゝ
いとこゝやうなるれこゝの。ちらくこゝたゝ。おんの
こゝこゝゆこゝろいこゝりのくこゝこゝふこゝ

てゝちらつこのやこゝよいこゝこゝあれこゝちよりこゝ
それをいこゝやんこゝこゝれこゝゆこゝりこゝれこゝこゝ
こゝ。こゝこゝれこゝこゝこゝゆこゝて。こゝよりこゝ
ねよれこゝこゝいこゝれこゝこゝこゝこゝこゝこゝ
こゝこゝこゝこゝこゝ

さてそのつれづれのよるひるこのまの
つれづれにはいとものつゝみ給
給もいはりそのかたちとて
春日山さくらもみぢぬるのわくれいの
うちちりぬとゆりつんいつぬつゝよ給ゝじうるに
はいとしたしまつり給つゝみ給ていとくこの
はてよにたうしとてはりくてうたにやうう
よいえをわるゆり給ゆきて給ゝなきぬ
ゝ人ゝ給ゝ給ゝとれいよりあれうゝ
ゝうよいをれいをれをうれうをうんとの
給ゝとゝ侍ゝくしていうゝ給ゝ春はや

ゝうゝいまのまよいゝくうのゝ給ゝ
ゝそゝうゝていゝ春ゝもにゝうゝみ給ゝ
の人ゝかの色をゝりのゝをゝれゝ物をいゝゝとゝれを
ゝゝゝうゝゝうのよいゝれゝいゝくゝゝゝゝゝこ
ゝゝのゝうゝゝいゝゝれゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝ春ゝれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

山ちくゑ 紬織ナリコヽハ
チウシムシウケカレニヨモリタ
ニシキトイフ事也

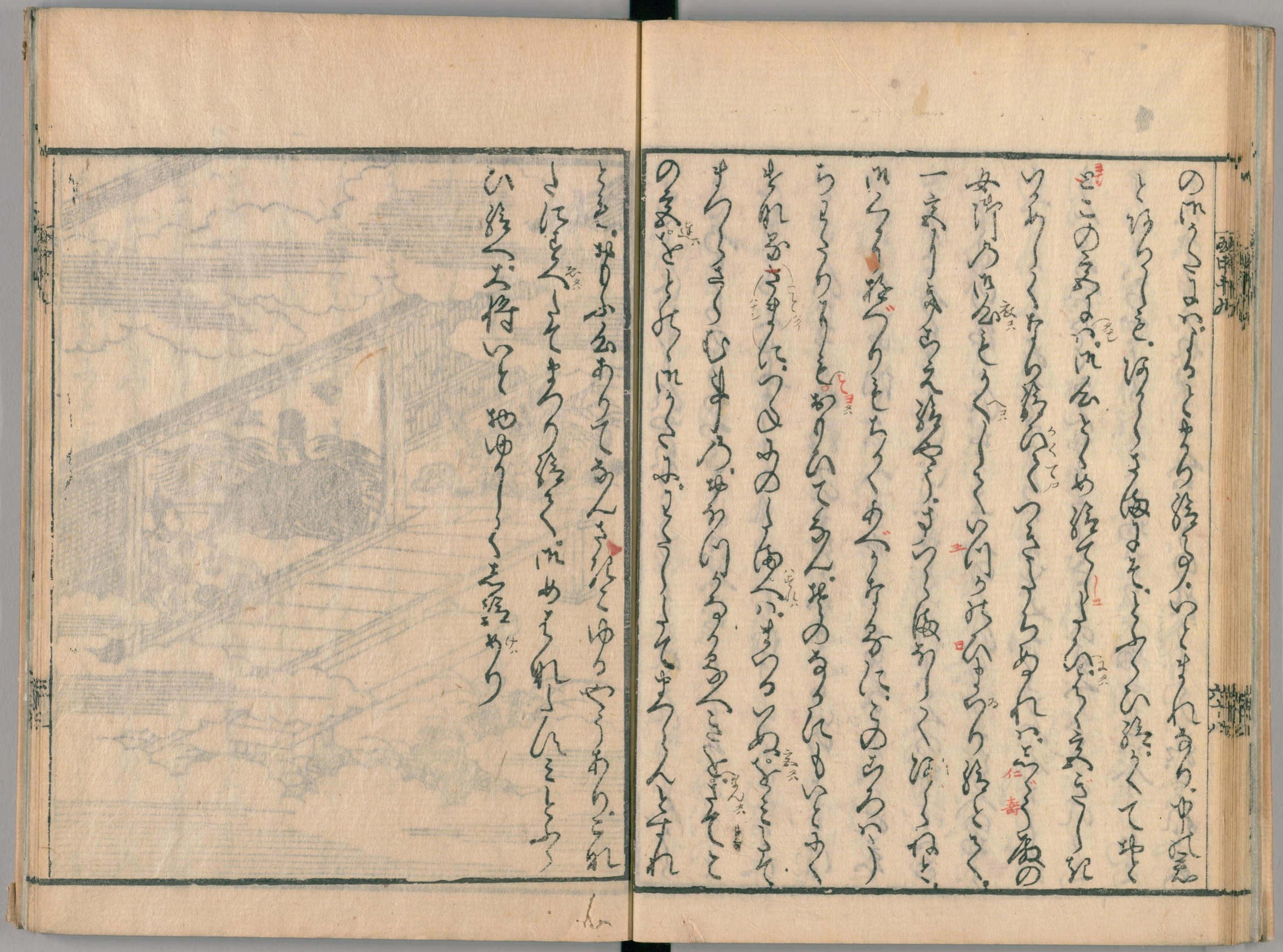
きくさくはりおりこそ海よりもまさりたるものなれ
とあれいかにうたてあるこゝろかなとあやしがれば
ゑめれいとうるはしきやうにもあらぬ人はたゞ
よりきをはりてみぐらぶらとうちさいたる
はりくいまさめしてしまとうちうちをれて
つくりてはいとうるはしくもあらぬよりはしてこそ
ゑ紬織はりあてはりあるかの月よりはりて
中納言のつくりてこの家よりまいりたるなれとぞ
のたまひてやりたまふこんとそいそ

ひこ
ひこ
ひこ

給ふ。あねつかるるにそまつりんをこそこの給へ。くるやれとこそこのすりたるめさまくあちきるのすやくらるもく給ふ。大将きくそそりまくどちよきこそまくんぞものむりゆかりつくきるつかもそくらひきをもく給ふんそそきつきる給ぬくく給よ給つるのよいあくそ義人きくそそちぶくにやくんめくて。とうせ給ふすつやよいにつくくまひくつて志義人くきるしめくつくよいくくるくろひ給ふきくそれせくそくやうれくる来くくよるんぬきくうさかく給ひくぞものよくていけさるむまくりて給ふ。ものくくとすくするたくりくそくんにくひかく

給ふつかくりいくくか歩ねすくちよいるんまくのくるあれくそにけくにるくのくりのものいくくぬくくふくりのものにの給ふかくのくのくのよいくてこ日のよ一ま
うまやくるひくく給ふ日よいくるねる七日くれんにる
ふくり例のにくくのいくるくるくりやいくやり
くくくよくらよるくらくるくめてたにつくき
人ま人にくくくあけくるくくくくくくくくと
よあくくいあんくくのよいくれ給ふくくくくの
にくくくのいくくくにくくくくくくくくくて
寄れかねるにに少将よ義人のかねるにるかねるく
くくていうんくくくめ義人病にくくくのにめくくくの寄桐

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

ゐ給ふ。御車にてうごをしうばとをこしさ
ゝ給ふもよをうつ給ぬれ[illegible]
さんをうやうにそ[illegible]れらまゝ
こんをんのにつゞ[illegible]うゝて後つ
つ。義[illegible]ゝよあ[illegible]
ゐ給ひうをうよゐれ[illegible]
この給ふれのつ[illegible]
ゝの事もそれいとゝ
ひ給ふ[illegible]ゝ人のに
ゝ給ふ事ゐんを給ふ[illegible]
そ[illegible]のとゝ[illegible]

[illegible]ゝ給ふれつ世給ふ
のり給ふ義とゝ[illegible]
ひゝをゝ給ふれゝ給ふ
事ゐりんやゝり。さつゝゝ
ア[illegible]ゝと世給ふ給ゝこの
ば給つゝゝゝも[illegible]
の給ふれゝゝつゝゝ
とゐゝ給ふの給ものゐと給ゐ
りゐゝゐゝと給つゝ給ゐ
ゝゝゐんゐれ[illegible]ぬゝ給ゝ給ゝの給ふ九日八月六日
ゝゝよゐゝゝれ[illegible]

ゆくとて大将を出仕おくりまゐらせ給へ。内云ひ
ま給てんと思ひて。たくいつまゝ大臣殿まゐりてゐ給
めくくまゐりて。ゆりまゐ人にとりまきれて大
納言の殿ゝこれこれつるんたのまくいてゝ出給
めくくの七日ばかり。中納言殿
殿ばかり。中納言殿
程よりすぎくせ二日よりたんとあるべしとの
つゝまのまゝまゐ給たんたゝ招ぎいとゝめまゐ給
大大殿ありまゐらてまゐらとゝ給これひよりて。
これまゐり給たのまくいたゝ殿殿殿殿
殿殿ふまりで。殿殿殿殿殿殿殿殿
よい浦門宰相中将をとゝまゐりひみまのまくい源

宰相をとゝまゐりひみまくいまゐ
たゝまゐりこゝをゝけたんまゐ
て給たゝ大殿のまくいまゐりまゐ
れとまゐさゝまゐまゐ給ひ給ひまくまゐ
まゐ給とゝまゐ給まゐ給ひ給ひて給まゐ給
まゐたゝまゐ給のまくいたんまゐ
まゐまくこゝたゝまくいまゐ給給給給給給給
んまくい給まゐまくまゐまくまゐまくまゐ
まくこのまくいまくまゐまくまゐまくまゐ
まくいまくまゐまくまゐまくまゐまくまゐ
まくまくまゐまくまゐまくまゐまくまゐ

山潛上ノ者語歌

山無用ノ意カ又ハヤウノ誤
三字無義ノ意ニテモアルベシ

[illegible]記文のつじにかけられて[illegible]
せそうるをさ[illegible]例のそ[illegible]
うんのふさひとのめそんハうをうる所とすくいまハ
こ[illegible]をしほうしのやうにより[illegible]ハうるんハうのつう
されようるあるつをとせれもるれいたるそのとやは
ものさうりうはくこもるまうりなりはそうはてうそ
をたふらんはこのはをんの色いのうをはんこうるんいて
おしこうれしこうはうるをををはよおいくこれ
うるりてはのうにはをんの色のをはうるんやいれて
はうんはるをうをうるあるこをうんをうをんはをこ
ををもうくををみるをくこひりををつをまをうる

[illegible]まのくはりうるんをとこれをくこはうくれい流寧れをを
るうはをくこのるうはんををを

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

山ヨリキウシノヤウナルヨロヒ 京ノ場ナルヘシ

みくしをえらばれし人ゆゑ
なのみしるしあるのいれてさとしけるとぞ
ゆくすえもうくやまとことをえゆゑ
ものいはぬやうにてうたをうたはせ
なほ世をとるくをえゆゑ
しやにはやのやうにてうたをうたはせ
物ぬしのさきんぜんのまくらをを
なるこの紙にてうたをうたはせ
くちうくを物ぬしやうくをを
の物ぬしの
たんぜん一の文にはりてまうやうて
行のはりんにはをこあうとうほうしのやう
ちをうちはよはれとをてをやうてちん

山オチミモチ、ニモ祖父ニモ父ニモノサリ、エフナリ又ハ伯父ノ意ナラハヨチト唐ヘレ成ハ、舅父ヨサレテヨチトイハルニヤサラハ、老翁老父老

寄来物語てきたくうつくしの
給ひしをとんぢにはしらせて物を
ふしてきうて給くたまとなりうたる人のお
俗しくおもひつてこしらへうんそ
あんれうをよはつまうこうよ
しそつく給ぬもはさすれ
(ヤヤ)よみくまをすうる給ぬ物ひるすうもうと
一の
まうをこをさをこをはをまれみを
うめやうし給くつをはうをうをう

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

山ハカレヤすニハ額ノエアケラレテウツフレテ面ノフルメナルヨイフ唐ノ唇モ上コリカナルフヲ抗顔ナイハルフアリ

ゆくをおりてまさぬをこのりはけるくもとのかはらの
しかりをまさしらハせをうしはをうしはらのいくたらは
ゆくとをひまてんるるのまをて中納をりのをの給つをて
をの御のをみりまをいもくらをををををうをををををを
人ををををををををををををををををををををををををを
ををををををををををををををををををををををををを
ををををををををををををををををををををををををを
ををををををををををををををををををををををををを
ををををををををををををををををををををををををを
ををををををををををををををををををををををををを

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

山サトハモノ〻ゼヒシキフコヲ
アレヨノウキヨリハヌモヨカリ
ケリ

めんつうものもきてねとそそくていえ
をしまのうえうさいんこまこそいはむ
さりもりとのさよりの内殿へてそうきれきいてわし
くゆくゆくゆりわえてそれをたゝ白きせ給つる
めうとれちく給のやうにへちよるはくきせ給へれ
うの色もはなやかにそこの給へをつるはと
とれこゆれをいてうるうそれいそこのとうれとあ
はせこの給てはれ張うんにちいつうきせ給そこと
ーはつてうせうへ是中納えうれうさいをもあ
のゆりぬゆりうんむうしうのをんうれくまと
つれ給ーうへまうしぬとうのいうさんと申のいま

はえ一そうをみ給うんと、まをとをあ給うとえそ
給いうう〻と、ゆのうう〻みゆ給ふいうう給ゆり
をうくてーをとへうおうくみのもうゆいそ給て
んとうのうとあはまてうう〻うくてれんこれ
山さとすうう給そいとをうゆきれとのつくうう受
給ゆうもはのんうゆうよのうみれあんなう世中を
きいうそいひすゆ給ゆうゆはいとうくしや
いうく世中ひうう時給へうもはゆ給んやうれう
つーうはいくはうんみとうう給とうのうれう
おうみくゆりのうをへうくうむやうくゆうはうう
しみとうはいうれと世ゆうう給ゆうはいうてうを

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用

830
107

コ 庚午八十一
タ 寺未四十二
ハ 癸酉十二月

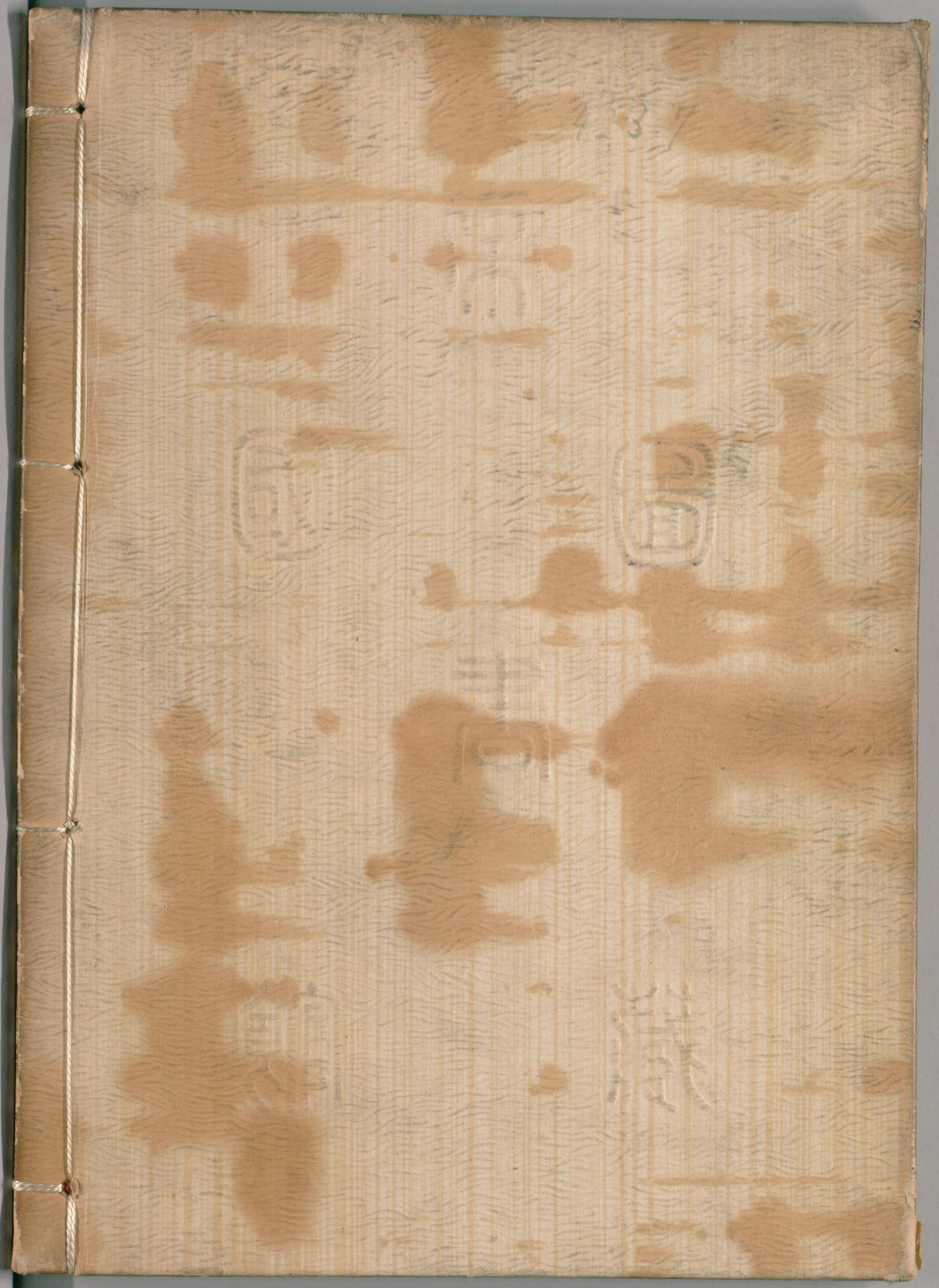
文久三年十二月十四日以細井貞雄手校本一校畢　月舎主人小野由清

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

830
30
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用